第52回X線材料強度に関する討論会 テーマ「企業における非破壊検査の現状と 課題および放射光を利用した非破 壊材料評価技術の現状と課題」

開催日 平成27年12月4日(金)

主 催 日本材料学会

協 賛 応用物理学会,自動車技術会,精密工学会,日本機 械学会,日本金属学会,日本建築学会,日本原子力 学会,日本航空宇宙学会,日本ばね学会,日本材料 強度学会,日本セラミックス協会,日本塑性加工学 会,日本船舶海洋工学会,日本鉄鋼協会,日本電子 材料技術協会,日本非破壊検査協会,日本複合材料 学会,日本溶接協会,表面技術協会,溶接学会

期 日 平成27年12月4日(金)

会場岡山国際交流センター (岡山市北区奉還町 2-2-1)アクセスhttp://www.opief.or.jp/oicenter/access.htmlJR岡山駅より歩いてすぐ

旨 非破壊検査は工業製品を安全かつ安心に使用するた めの重要な技術です。本委員会では、非破壊検査の一つである X線回折技術を用いて、結晶材料の微視構造や残留応力を評価 する研究を継続的に行っています。本委員会の活動目的は, X 線回折を主とする材料評価手法を通じて材料の強度特性を解明 しようとする学術分野、すなわちX線材料強度学に関する学術 の発展および技術の向上に寄与することであり, 産業界へのさ らなるX線応力測定技術の普及を目指しています。今回のX線 材料強度に関する討論会は「非破壊検査」をキーワードに二部 構成で実施することとしました。前半では「企業における非破 壊検査の現状と課題」をテーマとして, 産業界における非破壊 検査の現状を把握するとともに課題を抽出して解決に向けた討 論を行います。後半では「放射光を利用した非破壊材料評価技 術の現状と課題」をテーマとして、大型放射光施設 SPring-8 に おける最先端の材料評価研究の現状と課題について今後の展望 を含めた討論を実施します。非破壊検査に携わっている企業の 皆さま,研究者の皆さま方に話題提供をいただき,広い知見を 得るとともに本テーマに関する活発な討論の場としたいと考え ております。多数の方々のご参加をお待ち申し上げております.

プログラム

10:00-10:05 開会挨拶 X線材料強度部門委員会総括幹事 八代浩二 (山梨県工業技術センター)

10:05-13:25 【企業における非破壊検査の現状と課題】

<座長:王 昀(㈱日立製作所)>

1. 本四連絡橋における非破壊検査の適用

森山 彰(本州四国連絡高速道路㈱)

2. テラヘルツ波を用いた非破壊検査技術

○虎尾 彰(JFEテクノリサーチ㈱),山口壮二朗

3. 関西エックス線株式会社における非破壊検査機器開発の現 状と課題 松山 雅幸(関西エックス線㈱) 11:50-12:50 <昼食休憩>

4. マツダにおける非破壊検査・分析手法の活用 常友 敦 (マツダ㈱)

- 5. 放射光 X 線ラミノグラフィによる鉄鋼材料の転動疲労損傷 評価 牧野 泰三 (新日鐵住金㈱)
- 6. 放射光を使った多結晶金属材料の不均一塑性変形の解析評 価

〇小林 正和(豊橋技術科学大学), 戸田 裕之(九州大学) 14:35-14:50 <休憩>

- 7. 白色 X 線マイクロビームを用いた多結晶材料内局所応力測 定手法開発の現状 宮澤 知孝(東京工業大学)
- 8. X線・中性子回折によるラインプロファイル解析

佐藤 成男 (茨城大学)

16:00-16:30 総合討論 <座長:日下一也(徳島大学)>
16:30-16:35 閉会挨拶 X線材料強度部門委員会委員長 栗村隆之(三菱重工業㈱)

なお、本討論会のプログラムについては、X線材料強度部門 委員会ホームページ http://x-ray.jsms.jp/ にも掲載されておりま すので併せてご参照下さい.

参加費 会 員 6,000円 非 会 員 10,000円 学生会員 2,000円 学生非会員 4,000円 (ただし、講演論文集を含む) 講演論文集のみ 会員 4,000円 非会員 6,000円 *) 日本材料学会への入会手続きも当日会場にて受 付けます

申込締切 平成 27 年 11 月 20 日 (金)

申込方法 ファックスまたは郵送にて「第52回X線材料強度に 関する討論会参加希望」と記し、任意用紙に氏名, 勤務先,電話番号,所属団体などを明記のうえ下記 までお申込下さい.

申 込 先 〒606-8301 京都市左京区吉田泉殿町 1-101 TEL: 075-761-5321 FAX: 075-761-5325 日本材料学会 X 線討論会係 (なお,参加受付は当日会場でも行います.)

※討論会参加申込みの際にお届けいただいた個人情報は諸連絡、 行事案内等の日本材料学会の事業運営のみに使用させていた だきます。